

[参考]主な支援対象事業の概要

(敬称略)

企業名	区分	概要
有限会社吉田美術 【世田谷区】	B 競争力強化・小規模企業者区分	<p>●事業計画テーマ 造形物製作技術の高度化および生産性向上による競争力強化</p> <p>●内容 当社は映画やテレビ、CM等の撮影用美術セットの製作や、舞台・博物館展示物等の製作、テーマパーク等のアトラクション内装などを手掛ける事業者である。当社業務は昔ながらの伝統や文化を継承しつつ、最新の技術を駆使した本物さながらの再現力が求められる。かつ、一品モノで複雑な形状の製作物が多く、特殊素材への加工を短期間で要求されるなど技術力向上に加えて生産性向上の取組みが不可欠となる。そこで本助成事業を活用し、5軸制御NCルーターマシンを導入することで品質向上や短納期実現、自動化・省力化によるコスト低減を目指し、競争力強化を図っていく。</p>
株式会社ウォールナット 【立川市】	C 成長産業区分（防災・減災）	<p>●事業計画テーマ 遠隔操作型地中レーダによる防災に向けた土木構造物調査サービスの取り組み</p> <p>●内容 当社は道路やトンネル、橋梁や堤防など土木構造物の調査・点検業務を行っている。トンネルや橋梁の大半は高度経済成長期につくられ、近年、老朽化を要因とした損傷や事故発生が問題視されている。また、定期的な点検が義務づけられているにもかかわらず、調査対象施設の多くは人が容易に立ち入れない高所や暗所、狭小な場所にあり、安全性を確保するための人手や時間が必要となるほか、あまりの困難さから調査を断念するケースもある。そこで当社は本助成事業を活用して、飛行体に搭載した遠隔操作型地中レーダを導入することで人員削減と計測の負担軽減を実現し、これまで立入困難な調査対象への新規適用を可能にすることで同業他社との差別化を図っていく。</p>
三鎮工業株式会社 【羽村市】	D IoT・ロボット活用（IoT化）	<p>●事業計画テーマ IoT・ロボット活用による電動弁部品の加工体制強化</p> <p>●内容 当社は小径で高精度かつ量産型の精密部品加工を得意とする金属製品製造業者である。モーターや医療機器、エアコンや半導体関連装置など多様な製品の精密部品加工を手掛けるが、特にエアコン分野で増産体制構築の必要が生じたことから、製造現場のIoT化とロボット活用に向けた取り組みと合わせて本助成事業を申請した。具体的には、増産体制構築のためにNC自動旋盤を購入し、既存の生産設備の稼働状況も含めリアルタイムで情報収集・監視・改善管理が可能なシステムを導入するほか、ロボットによる製品検査・パレット整列装置も導入して、増産体制構築と大幅な生産性向上を図る。当社は公社の「IoT・AI導入前適正化診断」及び「ロボット導入前適正化診断」を活用しており、その内容に基づいた申請となる。</p>
株式会社竣栄工業 【江戸川区】	D IoT・ロボット活用（ロボット導入）	<p>●事業計画テーマ 産業用ロボットの導入で工場の生産性向上と高付加価値業務の対応力を強化</p> <p>●内容 当社では、主に建物の外壁や内装等に使われるアルミと樹脂の複合板材「アルポリック」の加工及び施工を行っている。アルポリックはカラーバリエーションが豊富なうえ耐候性と施工性に優れた建材である。それら利点が評価され増産傾向にある一方で、当社の既存の生産体制では限界があることから、本助成事業を活用して、生産工程のボトルネック部分に産業用ロボットを導入し、不良率低減と大幅な生産性向上を目指していく。併せて、熟練技能を要する付加価値の高い規格外品の生産体制強化も図っていく。</p>
東和工業株式会社 【板橋区】	E 後継者イノベーション	<p>●事業計画テーマ 開発中の防災用途ウレタンスポンジの生産体制確立</p> <p>●内容 当社は、難燃性等の耐火性能を有したパテ状シール材の製造を手掛けている。激しい価格競争のなかで差別化に向けた打開策を検討してきた結果、従来の性能を維持しつつ軽量かつ施工性に優れた材料として、ウレタンスポンジに着目。専門家からの技術指導を経て、新製品開発の目途が立った。 そこで本助成事業を活用し、平成30年1月に事業を承継した当社代表のもと全社一丸となって同プロジェクトに取り組み、高付加価値製品製造による増収増益を図っていく。</p>